

まちの話題

理科の楽しさを体験

9月2日・3日、松城小学校と小島小学校を会場に、5・6年生を対象とした「サイエンス教室」が開催されました。

これは、理科の楽しさを体験してもらおうと、千葉工業大学の笠嶋義夫教授に企画していただいたもので、玉ねぎの皮を煮詰めて、絹の布を染める実験を行いました。子どもたちは真剣な面持ちで、実験に取り組んでいました。



地域おこし協力隊ニュース

地域おこし協力隊の入江です。9月は1ヶ月間、松前を離れ、黒松内町の『黒松内ぶなの森自然学校』（以下、自然学校）へ、自然体験活動の研修に行ってきました。今回は、自然学校で体験してきた活動の一部を紹介します。

ウッドチップの作成

ウッドチップパーという機械を使用し、刈り取った笹や、剪定した枝から、ウッドチップを作成しました。細かく粉砕することにより笹や枝をそのまま廃棄せずに済みますので、ゴミの減量となります。また、腐葉土を作る材料にする事もできます。自然学校では、遊歩道を作るために、地面へ撒くことも試みました。

ドラム缶風呂

自然学校内には、ドラム缶風呂の設備があります。準備は、焚付の薪を作ると



ころから始まりました。大きな木材を、丸ノコで釜に入る大きさに切っていきます。その後は、ナタを使い、更に細かく燃えやすくしました。今回は、自然学校内の畑で栽培しているハーブで、ハーブ湯にしました。大人3人で焚付を行い、入浴できるまで3時間程度かかりましたが、月明かりの下、星空を見上げながら、ほのかなハーブの香りを楽しみ、たいへん心地の良いものでした。

磯遊び

自然学校での磯遊びは、水着の上に、更にウェットスーツを着て行います。足には靴下を履き、ウォータースニーカーを着用します。怪我をしにくくすること、肌の露出部位を減らすことにより、水から揚がった時の寒気予防に役立ちます。より安全に配慮して活動を行うため、大人、子ども関係なく、全員ライフジャケットも着用します。そして、箱メガネやシュノーケルを使い、海の生き物観察を行いました。

安全な場所での飛び込みもあり、恐怖心に打ち勝つ、心の安全領域の拡大をねらう活動も行われていました。研修中は、他にも、いくつもの活動の体験をさせていただきましたので、今後の交流の里づくり館での体験活動へ、活かしていきたいと考えております。

《広告》

旧(青)色の **とくとくシール** の使用期限は **10月31日まで** です



いつもとくとくシール会をご利用いただき、ありがとうございます。
とくとくシールは、9月1日より赤色シールに変更となりました。
旧(青)シールは、10月31日をもって使用できなくなりますので、
ご注意ください。

松前シール会 ☎42-2339 (商工会内)



松前本まぐろを堪能！ 松前マグロまつり

9月13・14日、松前城広場で「松前マグロまつり」が開催されました。

約1400kg分の松前本まぐろが即売会や解体ショー、イベントの景品などに登場し、たくさんの方々が松前本まぐろを舌と目で味わいました。



書のまち松前コーナーでは、「マグロ」にちなんだお題を書道で書き、優秀作品には、松前本まぐろが贈られました。



姉妹都市・福島県伊達市特産物販コーナーでは、新鮮な桃やぶどう、漬物などが販売され、大盛況でした。



江良杵振舞と古城太鼓の郷土芸能で会場を訪れた観光客を歓迎しました。



14日には、HTBアナウンサーの国井美佐さんがマグロ解体に挑戦し、会場を沸かせました。



国井さんは、町長から「松前本まぐろ」PR大使に任命されました。



長蛇の列ができた販売コーナー



解体ショー



古城太鼓

